

6-2 事業活動報告交流会の実施

公益事業に対する理解の普及と協力を得ることを目的に、全国の大学・短期学の関係者を対象に12月3日に関西・中四国地域(会場:近畿大学)、12月6日に九州地域(会場:九州産業大学)、12月9日に東北地域(会場:東北学院大学)、12月10日に北海道地域(会場:北海学園大学)、12月18日東海地域(会場:静岡産業大学)にて、向殿会長、事務局長が出向して実施した。5地域で34大学、179名が参加し、その内、非加盟校は12大学で12名(7%)であり、理事長1名と学長2名(2%)、教員39名(22%)、職員137名(76%)の出席があった。

以下に、参加教員の約4割、参加職員の約6割、賛助会員1名によるアンケート結果の概要を報告する。

(1) 意見交流の主な内容

- ① 起業教育によるイノベーションの担い手の育成
- ② ICTで学外有識者を交え意見交流するフォーラム型PBL授業の方法
- ③ AI教育に対する大学としての取り扱い
- ④ 対面方式による「社会スタディ」の地方開催の可能性など

(2) 事業活動に対する主な感想

教員、職員とも多くの事業活動を展開しており、非常に参考になったとの感想が寄せられた。その中で幾つかを紹介する。

① 教員からの感想

- ※ 「社会スタディの地方開催、大学での教育活動報告や協会事業での試行を Web上で公開して欲しい」
- ※ 「各大学でのFD活動概要のリスト化と共有を行って欲しい」

② 職員からの感想

- ※ 「直接、学生や教員に関するようなプログラムも開催されていることが分かり、説得力があった」
- ※ 「ICTの活用をどのように教育と結びつけていくのか、糸口になりそうです」
- ※ 「フォーラム型PBL授業は、大変参考になった」
- ※ 「スタートアップ(起業)学習について興味深かった。学生、教員との連携が重要と思われるが、どのような進め方がよいものなのか考えさせられた」
- ※ 「情報通信技術の活用方法のみならず、教育改善や社会で求められる情報活用能力についても様々な視点からの調査、情報提供をいただきありがたい。各種大会、研修やオンデマンドコンテンツなども活用させていただきたいと思う」
- ※ 「私立大学情報環境白書をよく読んでみようと思った。経営層に情報セキュリティの課題を経営課題として捉えてもらうようにするにはどうすべきか、が今後の課題と考える」などであった。

(3) 報告交流会の運営に関する要望・感想

① 教員

- ※ 「非常に良かった。有益でしたが、修得すべき、修得したい内容が多すぎて復習したい」
- ※ 「もっと多くの方が参加してもらいたいと思います」

② 職員

- ※ 「肉声でお伝えいただくことにより、熱気のようなものが感じられた、資料だけでは伝わらない雰囲気身に置けてよかった。これからも現場で手を動かす方からの話を聞かせてください」
- ※ 「とても考えさせられる内容だと思いました」
- ※ 「私立大学向けのバイブル、マニュアルのような資料を発信して欲しい」
- ※ 「各取組みについてももう少し掘り下げて説明があればありがたい」などであった。